



1年生が「自立」目指して「探究」

先週14日(水)に、学校外から35名の参加者を得て、ミニ公開授業研究会を行いました。

公開したのは、1年2組の生活科「自分で、できるよ!」の授業でした。これまでに、子どもたちは、「自分たちは家に帰ると忙しい。宿題、習い事、夕飯食べてお風呂、兄弟の世話など沢山。」と感じていたようですが、実際にお家の人の仕事をiPadで撮影しながら調べ、集めてみると40を超え、自分たちは、10いくつ。お家の人の仕事は、思った以上に多いことが分かりました。

そこで何とかしたいと考えたのが「らくらく にこにこ大作戦」です。仕事で忙しいお家の人を楽々にしてあげ、お家の人も自分もニコニコになるようにするというもの。そこで、先生は、iPadの中のシンキングツール「クラゲチャート」を使ってみるよう促しました。クラゲチャートは考えと理由を整理する図で、「理由付ける」思考力を付けるシンキングツールの1つです。

15名の子どもたちが、50名を超える参会者に囲まれ、最初は緊張した様子もありましたが、自分の作戦をクラゲの頭書き、理由をクラゲの足に書き込んで、作戦を立て、「提出」しました。

例えば、「風呂掃除」を選んだ子は、「ほめられたいから」「お母さんの仕事を減らしたいから」「お母さんの笑顔が見たいから」「自分でしてみたいから」などの理由を書き込んでいました。

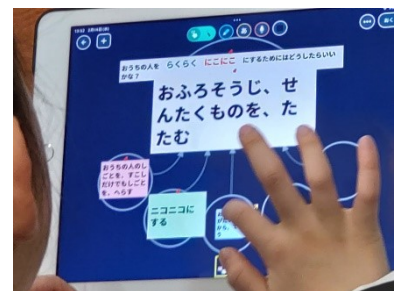
生活科は、「自立し生活を豊かにする」ことができるようにする低学年の中心的な教科です。幼児期から育ててきた自立心や協同性、思考力等を、低学年でさらに伸ばすという意味で、言葉を学ぶ国語や、数量感覚や考える筋道を学ぶ算数等へ分かれていく要としても重要で、「自分でしてみたいから」等の理由は立派です。

授業の終わりに、お手伝いや、自分の仕事としてやれそうなことを共有し、先生が「立てた作戦、明日からできそうですか」と聞くと、子どもから「何か、すぐにやる気にならない」のつぶやきが。

子どもながらに「忙しい毎日を送っているのに、お家の人を『らくらくにこにこ』にするのはいいけど、自分はずっと忙しくなる・・・どうしよう」という気付きだったのかも知れません。翌日担任に尋ねると、すっかりやる気になっていたというので、その矛盾や迷いを乗り越えたのでしょうか。

公開当日の授業の後は、研究協議と、関西大学の黒上晴夫教授による指導講演でした。黒上先生は、シンキングツールや、思考スキルを整理された第一人者であり、学習指導要領の執筆にも関わっています。本校の目指す「探究力」を価値付け、低学年からのiPad活用やそれを道具とするための方策も指導いただきました。家への持ち帰りによるiPadの作業課題のヒントもありました。

今後も、このような本校が6年間通してあらゆる教育活動で育成を目指す「探究力」についても、ご理解やご協力を賜りますようお願いいたします。



◇5年生スケート体験

2月8日(木)、5年生が城島高原パークで、アイススケートを行いました。

最初は、周辺を壁伝いに恐る恐る滑って(歩いて)いた子も、次第に氷上を滑ったり、走ったりするようになりました。

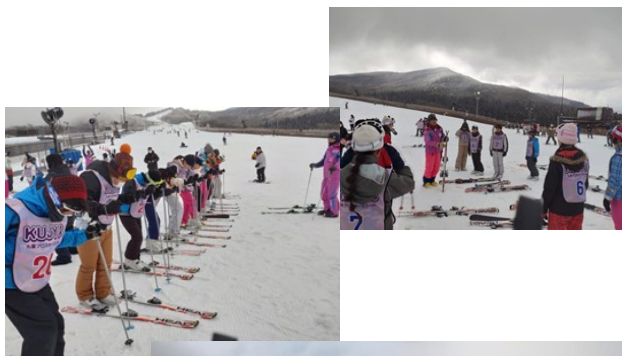
3,4年生が、天候の都合で中止になりましたが、次年度以降は、指導の専門家も付け、3年間積み重ねて、不安なく上達するようになりたいと考えています。



◇6年生スキー教室

2月16日(金)に、6年生が九重森林公園スキー場で、スキー教室に参加しました。

2時間の指導時間の中で、インストラクターから、履き方、滑り方、止まり方、こけ方などの基礎を丁寧に学んだおかげで、初めての子も少なくとも10m位は滑れるようになったようです。ポイントを聴く力、試す力、自分の課題を見付ける力、諦めない力など、「探究力」が発揮できて、卒業前のよい体験になりました。



◇教育実習生ありがとう

本年度、本学短期大学の初等教育科1年生、2年生、専攻科1年生の計21名が、本校で教育実習を行いました。

教員免許状取得につながる評価に当たって、指導経験を重視しているため、子どもたちから自分のクラスにも来て欲しいという声も届いていますが、学年主任の学級に配置しています。

次年度は、本学人間関係学科などからも観察や実習要請があり、どのクラスにも一度は配置させる予定にしていますので、楽しみにしてほしいと思っています。

本校の魅力を感じて、本校へ着任し、長く勤務する学生が出てくることを期待しています。



◇iPad 利用に関して

～お願い～

1つは、すでに1月の懇談会でお願いしていますが、家庭への持ち帰りをするに当たり、充電器をご用意いただくことです。

2つ目は、本年度中からタッチペンを使用希望のお子様、使えるようにしますので、ご家庭で購入いただきたいことです。

タッチペン等、詳しくは、懇談会の折りに各学級・学年でお伝えします。

様々にデジタル改革を進めますので、都度説明して参りますが、ご協力ご理解をください。